

売り渡しし四万三千俵

災害を克服した豊作

豊作が五年続いた。どこの部落でも予約申し込み数をほるかに越えたといふ。

被害一億円といわれた七月の大雨ではあったが、それも町全体の耕地から見ると全収量の五パーセント、大きな痛手を受けた農家をのぞくとわわめて豊年満作であった。別記の売り渡し状況がそれを示してくれたのである。ことしの豊作を解剖してみよう。

主因は技術の向上

豊作の原因はまず何よりも天候に恵まれたからだが、これとは別に普及所や農協など技術陣の適切な指導で、肥培管理の技術が著しく進歩したからたということができる。品種の改善や新農薬の普及にもめざましいものがあった。

検査等級が良かったのは、①脱穀調製の時期に晴天が多かったこと、②乾燥機が普及したこと、などの理由があげられる。

青年層の活躍も見のがすことができない。たとえば肥料設計をするにも、青年学級や四日クラブ、農協青年部などの組織を中心として盛んに技術交流が行なわれた。従来の独善的な方式が、共同研究という形に変わってきたのである。

次は米質の改善を

全般的に生産が伸び、売り渡し世帯もぐっと多くなった。農家の暮しが向上してきたことはいうまでもない。しかし、やがては米が商品化して、量よりも質が強く要求される時代がやってくるだろう。

優良児が選ばれた。明後十二日役場で表彰式を挙げる。中村町長から賞状と賞品が贈られる。

三十三年度四月一日から三十四年度三月三十一日まで生まれた赤ちゃん、二百五十九名を対象に、橋診療所森永先生、千手診療所浅井先生が乳児検診とあわせて審査を行なったもの。晴れの入賞者赤ちゃんは次のとおりである。

優賞

- 藤巻均 塩辛 優長男
- 小野塚良二 田中町 友吉二男
- 富井 義人 上野 正雄長男
- 秦野 道男 仁田 勇一郎二男
- 戸田 弘二 仁田 久仁二男
- 石川 利文 上野 利徳長男
- 藤巻 慎一 塩辛 三郎長男
- 田口 信雄 木落 幸男長男
- 高橋 正雄 高倉 三代治三男
- 田畑 繁 元町 虎太郎二男
- 上村 修一 上野 長吉長男
- 小林 和人 中仙田 亨長男
- 須藤 史子 仁田 良平長女

米の売り渡し状況

十月末現在

- カッコ内は昨年同期の実績
- 千手 一四、八八七俵
- 上野 八、五〇八俵
- 橘 八、八一〇俵
- 仙田 一〇、五三八俵
- 計 四二、七四三俵
- 予的申込数 三九、一四七俵
- (三六、四〇〇)

優良児二十一人

赤ちゃんコンクール終わる

町の第二回赤ちゃんコンクールで、男子十三名、女子八名の健康

中村 静子 坪山 克巳長女
金沢 一美 永公東 伸衛長女
富井加代子 上野 信治二女
水品 君子 新町 清長女
田口 香苗 木落 一朗長女

努力賞

小海留美子 学校町 三郎長女
齊木 孝夫 小脇 誠一郎長男
根津百合子 上野 石三二女

一日から狩猟解禁

事故防止に協力を

十一月一日から狩猟解禁になりました。来年の三月十五日までです。次のことをよく守って事故を起こさないように気をつけましょう。もし違反者を見つけた方はご遠慮なく警察に知らせてください。(川西巡査部長派出所長)

戸籍の窓から十月分

異天―御めい福を祈る

- 平野藤太郎 発電所通 六七
- 相崎 仁 神立 二四
- 中村 シメ 坪山 八八
- 齋藤仁太郎 山野田 五三
- 和久井ツル 木落 七〇
- 村越 イネ 野口 四八
- 高津金治郎 塩辛 三九
- 桑野 順平 仁田 七七
- 小幡 幸男 仁田 二五
- 山田 恆喜 仁田 七八
- 上村 ツル 元町 七〇
- 星名幹太郎 元町 三〇

たかきこー御円満に

- 根津 義治 上野
- 渡邊 美代 青海町から
- 石澤日二次 上野
- 清水八重子 上野から
- 関口 忠二 神社町
- 川岸 義子 宮城県から
- 丸山 勝美 下原
- 小川 ユキ 鵜魚から
- 登坂 邦雄 岩瀬
- 登坂久美子 岩瀬から

ふるさと

としよりがふたり寄れば必ず年金の話が出る。この人たちの第一の関心は「ほんとうにオラももらえるのだからか」ということだ。「うは捨て」の伝説を持つ國柄だから、月千円というさやかな額だとしても「お上から」といって金をくたさる」といふことが、にわかには信じがたいのもむりはない。期待が大きいだけに、もしやという不安も抑えきれないのだ。だから、「ひととは手数料を百円納めたというのに、オラののは七十円しか取ってくれなかったが」と手数料の差が受給額の確実性の差であるかのように心配するオババや、同一世帯で二人分の申請をしたのに「手数料は一人分しか取ってくれない。納めるものを人並に納めない」と気分が悪いから、せひもう一人分受け取ってもらいたい」と訴えるオジンの心境も決して笑いでとではない。△童心にかえってそれのみを待ちこがれているというのに、年金支給を三月までおあすけにしておくとおのりも罪な話だ。町でも毎月十人内外の昇天者のうち約半数は七十才以上の人たちだ。が、老令年金のためまゝとして、支給日の前日に死亡しても受給権は消滅して一銭ももらえないという。一少してもいいから早く、「△」というのは当事者だけのせりではない△△いにくとこれからはと、しよりに不向きな寒期にむかうわけであるが、何とまああれ、かせきで引かぬようにして、せ、かくの年金をめでたく受領されるよう念じてやまない。(長)

火の子と思いな 火事の親 川西町消防団

十月二十日午後三時ごろ、赤谷地内にはと近い柏崎市(南嶺石の大沢)の山中で、九十五キロのオス熊が射止められました。オス熊も出没している。といううわさがあります。注意してください。

うぶ声―御すこやかに

- 数藤ちあき 沖立 清治長女
- 春日ちい子 神社町 喜平三女
- 田中 亮一 下平 忠吉長男
- 山口 智子 仁田 守也三女
- 山口 千秋 仁田 清二女
- 田中千恵子 仁田 芳男長女
- 田口 博明 仁田 正昭長男
- 田口 浩 木落 喜太郎長男
- 太田 修 田中町 昭司二男
- 上村 典子 下平新田 健一長女
- 井川 清江 新町 一二女
- 齋藤 弘 上野 幸作長男
- 金崎 勉 元町 龍吉二男
- 中條 広 大倉 政吉二男

十一月五日から十九日まで

ブラジル通信① 盛大な赤道祭

南半球にホタル飛ぶ春

在ブラジル金子国栄

去る八月四日、故国をあとにしてブラジル移民の途に上った岩瀬出身の金子国栄君から、現地より第一信がとどいた。横浜出港後太平洋を越えて北米ロサンゼルスに寄港、パナマ運河を経て四十日後に最終寄港地サントスに上陸、十月二日、無事目的地レジストロの山本製茶工場に到着した金子君は、出発に当たってあたたかく激励してくれた故郷の人々に対して心から感謝しながら南十字星またたく新しい天地で、新しい生活へのスタートを切ったわけである。以下、同君の渡航第一信を紹介しよう。(丸山)

川西町の皆様、その後お変わりございませんでしょうか。ほくも元気でブラジルに着きました。出発に当たって、中村町長さんをはじめ、ほくを励ましてくださった皆々様の厚意に、心から感謝のこぼしを申し上げます。

あめりか丸で横浜を出港してからロサンゼルスまで二週間、そこからクリストバル、ライガラ、キウラサオ、トルヒーリヨ、ヘレン、レシーフェに寄港して、サントス港まで四十日かかりました。青い海ばかりでしたが、その中にもイルカの大群や、人間大の魚がほんの船の近くにスーと寄ってくるのです。キラキラと皮膚を輝かして、クネクネ泳ぐアザラシの群、遠くで潮を吹く鯨、鳥を思わせるような飛魚、千鳥、かもめ、あほう鳥など、たくさん動物たちがながくきめてくれました。

今年八月十日を二回やりました。日付変更線を通じた日です。

ほくも盆おどりをしました。

レシーフェには一週間滞在しました。ここは世界の三大美港に数えられるだけあって、全く絵に書いたような美しさでした。二十階三十階のビルが、港のすぐそばからそびえ立っています。巨人、小人、黒人、混血、金髪、黒髪と、全く人種の展覧会のような感じです。ほとんどの大人がヒゲを生やしています。これらの外人たちは、「日本製品は優秀だ」といって時計や万年筆を交換しようとするに話しかけて来ました。

九月十二日午前十一時に赤道を通過して、南半球に入りました。赤道祭には劇や仮装大会、それにお国自慢の民踊などが次々と繰り広げられて、実に盛大でした。

ある女教師の手紙

何かしら大きく狂っているようです。専門の教育学者はほとんど全部、新教法に反対し、勤務評定に反対し、道徳の時間を特設することに反対しているのに、文部省はとてども強行してまいります。学問的にいけないうことばかりをやらうとしている。これはいったいどういうことでしょうか。わたくしたちの真に願うところは、この闘争に勝つと負けるか、そんなことではございませぬ。目的は「どうすればほんとうに良い教育ができるのか。」それだけかと思っております。

教育のために生かすことを願うと、わたしはけなげな

郵便局、銀行、裁判所、映画館など、外国風の美しい建物が整然と並んで、すぐそばを川が流れるひっそりとした町であります。

こちらに来て、自分の心がたいへん狭かったことを学びました。ブラジルはいま春で、毎日二十六度C内外の、ちよつとよい気候です。夜になるとたくさんのホタルが飛んでいます。とても大きくて頭が光ります。南十字星もよく見えます。通貨単位はクルセイロです。一クルセイロが日本の約二円五十銭ですが、一時間遊んでも価値に変動がありません。

ほとんどの住むレジストロは、教会

ある女教師の手紙

ロマチックな気持にはなっておりませぬ。けれども今は教育の危機です。ほんとうに日本の教育は機はなかつたろう。という気がいたします。尾崎ふみ子さんはこの書いた終わりに、「支えになつて忘れないで見守ってください」と頼みます。朝日に連載された「人間の壁」あなたのお話みにポを向かずに、オヤジさんかたもどいっしょに。希少価値で大事に扱われますしいいことですね。

冷静な理論家の彼を泣かした映

力を入れていますが、なにせまた来たばかり、よく見て歩いて概要を知るために一生懸命です。

たれもかれもみんな良い人はかりでとても親切にしてくれま。食事もほくは日本食で、渡伯してから四十年になるという老夫婦が毎日おいしいものを作ってくれます。NHKの南米向け放送もよく聞こえます。台風が暴れて困ったものですね。仕事のことや細かい印象は、もっと落着いてからお便りします。皆様どうぞお元気で。(原文のまま)

ほとんどの勤める山本製茶工場は、量質ともにブラジルで一番大きなものです。そのすばらしさにビックリしました。いま紅茶の栽培に

町の掲示板

④地区の公民館で図書の一部を入れ替えが終わった。本が、みなさんのご利用をお待ちしている。⑤仙田中学校ではPTAの教養講座を毎月開催する。十月は、べんと座の作りかたを学んで好評だった。⑥中央公民館の電話番号が、千手一十九番の甲に替わった。⑦赤谷産子ケ島で本年甲に三ハクタールの開田が終わる。総工費二一三万円のうち補助が六四万円で、あとは起債。入山沢から揚水する。⑧四日からはじめた全町の検便は月々までかかる。係とはいえほんとうにこつこつな仕事。検査日(通知す)に忘れず便を出して、この機会にハラの虫を根絶したい。

冷静な理論家の彼を泣かした映



かわにし 俳壇

金山柏樹選
元町 鉄平
○百舌の群村のうしろの山ひくく
下原 仁子
○真境のこ風つよし紅葉晴れ
野口 寅夫
水道の蛇口にも虫鳴きすめり
越ヶ沢 辰治
鋤きおこす土新しや鳥渡る
岩瀬 桂子
夕焼の明るさ霜を刈りすすむ
大倉 洋石
新郎にたよるころや蒲団縫う
再度、俳句は写生と申しあげます。机上の作はさけてください。

編集後記

○例年の部落別成人講座を、この冬も実施することができません。編集という仕事は、こもも心に安らぎを与えないものでしょうか。○「たまには出かけて来い、話がききたい。」そう言ってきたさるみなさまの、ご期待に添うることができなくて残念です。

○そのかわり、「社会教育の進展に役立つ広報を生みだしたい。」と考えております。○やがてくる冬、ひらひらと香もなく散る木の葉です。山かけのあせ道に野菊がゆれていました。夜半に吹くあらしにつけて思ふかな、都もかや秋は悲しき (新古今集)